

みんなのかんきょう

52

—Contents—

特集 2~4

農村の環境保全機能と地産池消の推進

私達の活動紹介 5

勝山市立勝山北部中学校

株式会社 サンワコン

協議会事業報告 6~7

・読者の窓等

環境クイズ・県からのお知らせ 8

継体大王ゆかりの地
写真・「味真野苑」

—越前市—



環境ふくい推進協議会

農村の環境保全機能と

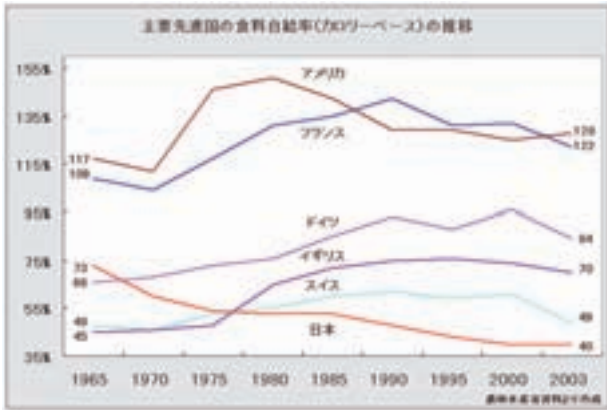
地産地消の推進

【食料自給率の低下と農村】

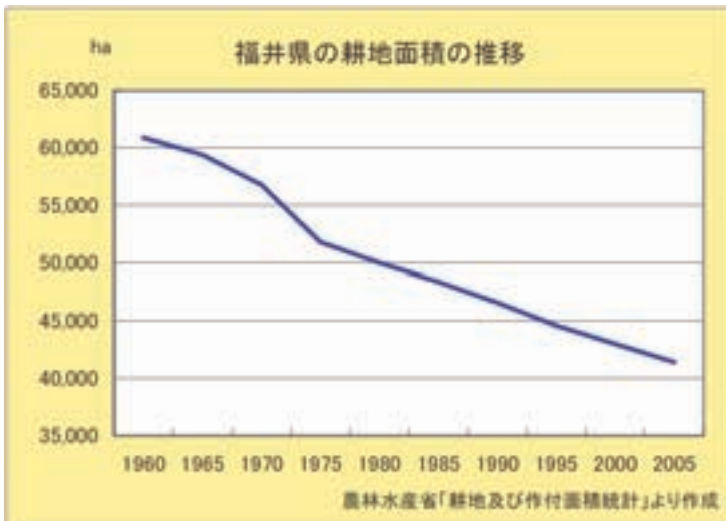
最近、食の安全・安心への関心が高まり、スーパーの店頭などで原産地表示を気にする機会も増えてきました。改めて見直してみると、ノルウェー産のサバ、ブラジル産の鶏肉、アメリカ産のブロccoliなど、はるか遠くの国々で生産・収穫されたさまざまな食品が店頭にあふれています。

わが国では食生活の多様化が進む中で、米や野菜中心の

消費から、畜産物のように大量の輸入飼料を必要とする食べ物の消費が増加することなどにより、食料自給率は一貫して低下してきまし



資料①



資料②

た。最近の調査では、日本の食料自給率は40%を下回るほどにまで下がっています。(資料①)

日々の生活になくてはならない食料の大部分を外国からの輸入に頼っているため、日本は世界的な人口増加や、天候不順・気象災害がもたらす農産物の被害、国際関係の変化など、さまざまな要因で今までの食料輸入を続けることができなくなった場合に、食料確保が大変難しくなる可能性を常に抱えていることとなります。

また、国内で食料を供給する拠点となる農村で

は、農業者の高齢化や農業離れが進んでおり、耕地面積の減少なども進行しています。

(資料②)

農村および農村には、食料を供給する役割のほか、降った雨を蓄えて一度に河川へ流れ出るのを防いだり、水源を涵養したり、土壌浸食や土砂崩壊を防止するなど多様な機能があります。(資料③・④)

さらに、農産物の生産に伴う二酸化炭素の吸収、有機性廃棄物の分解、水田からの蒸発散による気温上昇の緩和など、環境保全にも重要な役割を果たしています。

農村の衰退により、これまで農村が担ってきたこれらの機能の低下が懸念されています。今回は環境保全に重要な役割を果たしている地域の農業・農村の維持のために、消費者の立場からできることについて考えてみたいと思います。

農業の多面的機能の貨幣評価

機能の種類	評価額	評価方法
洪水防止機能	3兆4,988億円/年	治水ダムを代替財として評価
土砂崩壊防止機能	4,782億円/年	土砂崩壊の被害防止額によって評価
土壌侵食(流出)防止機能	3,318億円/年	砂防ダムを代替財として評価
河川流況安定機能	1兆4,633億円/年	利水ダムを代替財として評価
地下水涵養機能	537億円/年	地下水と上水道との利用上の差額によって評価

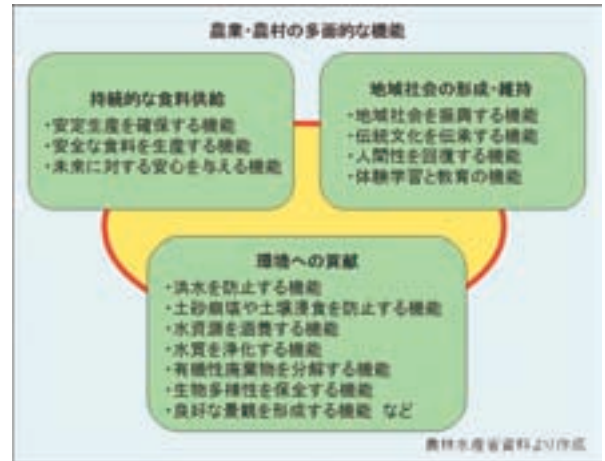
日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農村及び森林の多面的な機能の評価について(答申)」(2012.11.13)による
農林水産省資料より抜粋

資料③



我が国では以前から、地域でとれた農林水産物を地域で消費する「地産地消」という考え方がありました。近年、食の安全・安心を求める声の高まりを受けて、より生産者に近い、生産履歴や流通履歴のはっきりした食品を求める声が高まっていますが、地元で生産された食料を選び、「地産地消」を推進することによって、生産者と

【地産地消を進めよう】



資料④

の距離が近くなり、安全・安心で新鮮な食料が手に入りやすくなるとともに、食料自給率の向上にもつながります。

さらに、地域の農林水産物を購入する人が増えることで、農林漁業の担い手を育成し、国土保全・環境保全・文化の伝承など食料生産以外にも多様な機能を持つ地域の農山漁村を維持・活性化することも期待されています。

また、食生活の画一化が進んだことで、伝統野菜や郷土料理など、地域に根ざした食文化が失われつつあります。地域の特産物や郷土料理は、それぞれの土地の風土や歴史に密接に関係しており、地元でとれる旬の農林水産物を使って、地域に伝わる食習慣を学び、味わうことは、地域の歴史や文化を見直すことにつながります。

もちろん、現代においては全ての食料を地産のものでもまかなおうとするのは現実的ではありませんが、多くの方ができるだけ地産の旬のものを選んで食べることで、豊かな自然環境や食文化まで含めた地域の総合的な環境の維持・保全にも役立つことができるといえます。

【地産地消推進の取組み】

現在、さまざまな団体や個人の方が、地産地消の推進のための活動を行っています。県でも、地産地消の推進のため、次のような取組みを行っています。

「とれたてふくいの日」



「とれたてふくいの日」

ふくい産をふくいで食べよう！という地産地消運動を県民全体の運動として位置づけ、一体となって盛り上げていくため、毎月第3日曜日を「とれたてふくいの日」に設定しています。

また、「とれたてふくいの日」に合わせて、県内各地で農林水産物の直売市「とれたてふくいの日」を開催しています。



小口農産物の集出荷システム構築支援

これまで出荷されていなかったような小口の農林水産物を直売所や市場等に出荷するシステムを構築し、直売所等にたくさんの品物を集めます。



直売所間ネットワークの構築支援

県内の農産物直売所が連携して地域の特産物を取引することで、直売所の品揃えの充実が図られます。



〔地元産の農産物が並ぶ直売所〕

農林水産業と加工業等とのマッチング支援

意欲ある農林水産業者と、県産食材の活用を求める加工産業、外食産業等が連携し、新商品開発や新たな生産、流通から販売に至るルートの開拓などがスムーズに図られるよう、県がマッチングの機会を設定し、事業化を支援しています。

また、新たに開発された商品等の食材が、福井県産であることのPRも行っています。



〔マッチング商談会〕

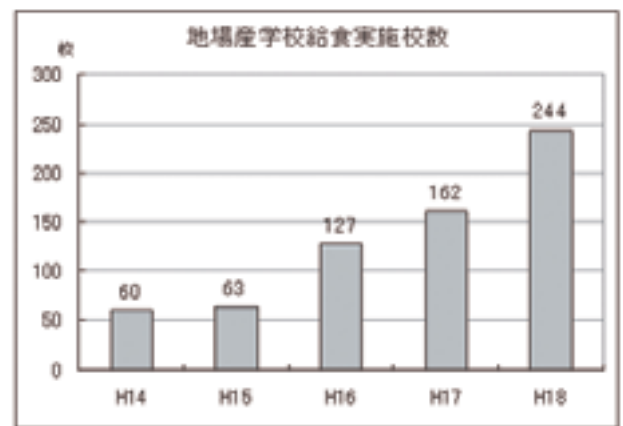
学校給食における県産食材の導入を促進

地場産学校給食協議会により関係者間の調整を行い、新たな供給体制づくりを推進しています。

- ・県内産コシヒカリ・イクヒカリを使用した米飯給食の推進
- ・地域に根ざした給食メニューを推進
地域の伝統野菜や郷土料理を給食に取り入れています。



地場産食材を使用した給食



【地産地消は毎日の身近な取り組みから】

地産地消に取り組むことによって、さまざまなメリットや効果がありますが、私たちが実際に取り組むにはどうしたらよいのでしょうか。

まずは、毎日の買い物で、店頭に並ぶ食材の原産地に注目してみてください。そして、単純に価格に左右されることなく、地場産食材を選ぶことの意味を理解し、地元産の食材を積極的に選んでみてください。地元産の食材は県内各所にある「直売所」やスーパーなど量販店の「地場産コーナー」で入手できます。

地元でとれた食材は、生産者までの距離が近く、「安全・安心」で「新鮮」です。意識して食べてみるときつとそのよさがわかんと思います。さらに、地域の魚や野菜の「旬」の時期を知り、その時期にあった料理を取り入れることで、地域の食文化や伝統に根ざした健康的な食生活を送ることができます。

地産地消の推進には、皆さんの理解と取り組みが必要です。皆さんもぜひ取り組んでみてください。

(福井県 農林水産部販売開拓課)



勝山市立勝山北部中学校

数年前から、奉仕の心と社会に貢献する態度を育むため、全校一斉に「全校奉仕活動」を行っています。昨年は、10月31日の5・6限目に実施しました。

1年生は、勝山ロータリークラブと連携し、北郷町坂東島の不法投棄物撤去作業を行いました。山林に、洗濯機・自転車・衣類・長靴・空き缶等たくさん投げられていたことは生徒たちも残念に思ったようです。勝山警察署や市生活環境課、勝山土木事務所の協力も得て、気持ちのよい汗を流しました。



2・3年生は、校下の公民館やえちぜん鉄道駅舎とその周辺の清掃をしました。公の場所をきれいにすることに、意欲的に取り組みました。

くもの巣を取り、枯れ葉や砂を掃きとり、窓をきれいにし、ベンチをぞうきんで拭くなど、よく

頑張っていました。

この経験を今後の地域の活動の中でも積極的に生かし、ボランティア精神がさらに育つことを願っています。

また、全校挙げて、電気をこまめに消したり、節水したり、暖房の設定温度を下げるなどの取り組みを年間を通して行っています。生徒のエコ意識はとても高く、光熱費が低く抑えられ、市からも感謝されています。



株式会社サンワコン

私たちサンワコンは、まちづくり、環境づくりの総合コンサルタントとして地域の皆様の生活満足度向上に日々努めております。最近では、環境モニタリングや各種環境計画立案、循環型社会づくり、地球温暖化防止などの取り組みのお手伝いをする機会が増えており、より地域に密着したコンサルティング活動を念頭に鋭意取り組んでおります。



交通エコロジー教室

自動車に頼り切った生活を見直し、持続可能な交通のあり方を一緒に学習する



エコオフィス活動の推進

社内では、クールビズ、ウォームビズ、エコドライブ活動等を推進

このように、環境保全に関連するコンサルティング活動をなりたいとする会社ですので、日常的な社内活動も率先垂範ということで、リサイクル活動やエコドライブ、照明・空調等の省エネルギー推進など、環境負荷の軽減に努めております。

地域で行われる自然観察会や各種環境フェアなどには、仕事の経験・技術を生かして多くの社員がボランティア的に運営参画するなど、環境教育活動にも積極的に取り組んでおります。

私たちは、これからも、「自然と社会と人間の調和ある豊かな環境づくりを考え行動し、社会の進歩・発展に貢献する」という企業理念のもと、皆様の信頼と期待に応えて参りたいと考えております。

(株式会社サンワコン 環境技術部)



環境保全PR活動への貢献

県内各地で開催される環境フェア、環境フォーラムに参加 (写真：鯖江市環境フェア)



環境教育活動等への技術者の派遣

仕事の経験・技術を生かして多くの社員が環境教育活動に指導者として参加 (写真：三里浜親子自然教室)

環境ふくい推進協議会事業報告

今回は、県内での活動を表彰された方や、団体・学校をご紹介します！！

おめでとうございます☆



自然公園指導員にかかる環境省自然環境局長表彰

久保上 宗次郎さん(若狭町) 森永 泰造さん(大野市) 田中 美喜代さん(鯖江市)

【主な取組内容】

久保上さんは、長年にわたって野鳥観察の指導に当たっており、その経験・研究に基づく説明や指導が分かりやすいと観察者から好評を得ておられます。自然保護思想の普及啓発や自然保護に対する関心を広めることに尽力し、近年はクマタカやイヌワシの保護にも力を入れ、調査や保護活動を行っているとして、受賞されました。

森永さんは、白山の福井県側登山道の点検・保守整備や山小屋や避難小屋の点検・清掃など、奉仕活動に熱心に取り組んでいらっしゃいます。また、自然保護活動についての調査研究ならびに自然公園利用者への自然の解説など自然保護思想の普及にも中心的な役割を果たしているとして受賞されました。

田中さんは、主に白山国立公園で活動しています。登山者に対して、白山の自然についての解説や利用者のマナー等についての指導を行うことを通じて、自然保護思想の普及啓発活動を行ったり、ゴミ清掃など自然公園内の美化清掃活動を積極的に行っているとして受賞されました。



平成18年度「関西エコオフィス大賞」

敦賀信用金庫(敦賀市)

関西広域連携協議会が推進する「関西エコオフィス宣言」運動に関し、特に先導的でした取り組みを行っているオフィスとして、敦賀信用金庫が大賞に選ばれました。

【主な取組内容】

廃棄物排出量の削減の推進

- ①営業店の店頭へ、「マイバッグ宣言書」を備え付け、宣言された方にマイバッグを進呈し、そのバッグを買い物に利用していただくなど、レジ袋の削減。
- ②「エコ定期預金」、「リサイクル定期預金」を発売し、営業区域の燃えるごみの減少量または資源ごみ(リサイクル化)の増加量に応じて定期預金の金利を段階的に上乗せ。
- ③エコ定期預金の発売以来、営業エリア内の燃えるごみの量は、第1回目で15トン、第2回目で461トン、第3回目で559トンの減少となり、当金庫の取組みがごみの減少に貢献しているものと地元自治体から評価されている。
- ④地球温暖化の防止と循環型社会の構築に向けて、平成19年2月に福井県と「環境協定」を締結し、県と一体となって環境保全に取り組んでいる。



平成19年度 福井県循環型社会形成推進等功労者表彰

敦賀市消費者連絡協議会(敦賀市) 福井環境事業株式会社(福井市)

廃棄物発生抑制、再使用、再生利用の適切な推進、廃棄物の収集運搬・処分事業、廃棄物処理技術に関する研究等に顕著な功績があった個人、企業、団体等を表彰するものです。

【主な取組内容】

●敦賀市消費者連絡協議会

長年にわたってごみの減量化・リサイクルについての普及啓発活動を行い、買い物袋持参運動に取り組んでいる。
平成19年7月20日には、「循環型社会の構築に向けた取組に関する協定」として、敦賀市および福井県民生協との三者間で、県内第1号となるレジ袋削減のための協定を締結された。

●福井環境事業株式会社

発泡スチロール、ペットボトル、生ゴミ等のリサイクルに取り組んでいる。
なかでも、プラスチックの再生施設である二日市リサイクルセンターは選別作業の際に手選別に加え、リアルビジョン(近赤外線による画像処理機)による機械選別を全国で初めて導入するなど純度の高いリサイクルに貢献している。

読者の窓

たくさんのおはがき、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをおわびいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

今

まで漠然としか使っていなかった文化財や史跡、名勝、記念物の区分の仕方がはっきりと整理されました。福井県は、そういう意味では文化財が多い土地柄ですね。先月、初めて一乗谷朝倉氏遺跡の復元街並みを訪れましたが、その整備のしかたの充実ぶりに感心しました。

(敦賀市 Tさん)

文

化財といっても沢山の種類があり細かく分類されているのがよくわかりました。一人ひとりの財産だと思つて次の世代に引き継がなければいけないのです。身近な文化財を大切にしていきたいと思います。(あわら市 Nさん)

私

たちの活動紹介を見て、様々な団体が環境保全に努めていることを知り、自分も頑張ろうと思いました。特集では、文化財について取り上げていましたが「指定されたから守る」のではなく、自分達の歴史、伝統、文化を大切に思う心が大事なのだと思います。

(坂井市 Tさん)

普

段からエコの事は考えていますが、つついといエコ温度を下げてしまったりしています。まず、その前に、涼しい服に着替えるなど、対策を考えたいです。毎日のエコが、地球環境維持につながるとおもいます。

(福井市 Nさん)



環境バスツアー 参加者募集

LRT（次世代型路面電車）の導入による公共交通を軸としたコンパクトシティやエコタウンによる循環型社会づくりなど、「人と環境にやさしいまちづくり」を進めている富山市を見学します。

- 日 時………11月16日（金）
- 内 容………①富山市エコタウン見学
②路面電車「ポートラム」乗車
③LRT導入によるまちづくり視察
- 定員・対象…30名（県内在住で18歳以上の方）
※内、10名は協議会会員を優先します。
- 参加費………1,000円
- 締め切り……11月2日（金）
※定員になり次第申込みを締め切ります。

申込み方法

- ①氏名、②性別、③年齢（生年月日）、④住所、
⑤連絡先（電話番号およびFAX）、⑥所属（勤務先・学校）、
⑦メールアドレスを記入のうえ、件名を「環境バスツアー申込み」とし、
下記事務局まで郵送、FAXまたはメールにてお申込みください

申込み・問い合わせ：環境ふくい推進協議会事務局（県環境政策課）
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1 福井県環境政策課内
TEL:0776-20-0301 FAX:0776-20-0679
E-MAIL:kankyou@pref.fukui.lg.jp

※いただいた個人情報は当協議会の事業遂行以外の目的では一切使用いたしません。

福井県 環境アドバイザー制度を御活用ください☆

県では、環境に対する学習会等を、活動団体や公民館、地域のグループなどが開催する場合、講師として環境アドバイザーを派遣しています。現在、環境汚染・環境教育・エコライフなど8分野に環境アドバイザーが登録されています。

講師の派遣を希望される方や、詳細を知りたい方は、県環境政策課までご連絡ください。また、福井県のホームページでも、アドバイザーの名簿など詳細を掲載しておりますので、ぜひご覧下さい!!!

<http://info.pref.fukui.jp/kankyou/kankyou3.html> CLICK

また、環境ふくい推進協議会でも、県のアドバイザー制度と連携して、会員企業に対し講師の派遣に要する経費を助成しております。

【対象】環境問題に関する研修会等を開催する「環境ふくい推進協議会」の会員である企業会員企業における社員等の環境の保全に対する理解を深めるとともに、自発的な環境保全活動の推進に資することを目的として行うものです。

ただし、助成は、原則として当該年度において1企業につき1回であり、本制度の目的に合わない研修会等には助成しないことがあります。

※詳しくは、環境ふくい推進協議会事務局（県環境政策課）までご連絡ください。TEL0776-20-0301
協議会による助成制度のホームページは、こちら☆

<http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs/ad/ad.html> CLICK



打ち水終し〜い♪

福大 越前打ち水大作戦2007

8月5日（日）開催のべんたワイワイ夏祭りにて、福井大学学生による、打ち水大作戦が実施されました!!

このイベントは、打ち水に参加された方々に熱環境緩和のメカニズムを理解していただき、今後の日常生活に生かしていただくために行われたものです。

当日は、一般の方々や、福井駅前商店街の方々およそ1000人が参加されました。

打ち水を始める前に、打ち水の歴史、温度が下がるメカニズム、家庭で打ち水を行う際の注意点などが説明され、その後、一斉アナウンスとともに福井駅前5600㎡を対象に10分間打ち水を実施しました。

お風呂の残り水など、参加者が各家庭から持ち寄った水、および福井市下水道部より提供いただいた下水処理水合わせて約600リットルの水をまきました。また、打ち水終了15分後に、サーモグラフィーで地表面温度を測定し、打ち水前の地表面温度と比較・検証した結果、なんと地表面温度は8℃から10℃も低くなったとの結果がでました!

この結果を元に、みなさんも日常生活の中で、簡単にできる、資源の有効活用、エコライフ術についてもう一度見直し、積極的に取り組んで行きましょう!



環境クイズ

今回は「農村の環境保全機能と地産地消」がテーマです。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております！

第1問 日本の食糧自給率が低下する中、最近(18年度)の調査では、何パーセントとなったのでしょうか？

- ① 56%
- ② 39%
- ③ 21%

第2問 農村の環境保全機能のうち、治水ダムを代替機能として評価しているものはどれでしょうか？

- ① 洪水防止機能
- ② 河川流況安定機能
- ③ 地下水涵養機能

第3問 「地産地消」に当てはまるものは次のうちどれでしょうか？

- ① 田舎で作ったお米を都会へ売る。
- ② 海外の農家が作った作物を福井の人が食べる。
- ③ 福井の農家が作った野菜を福井の人が食べる。

前回解答

- 第1問 ① 香気酸塩
- 第2問 ② 名勝
- 第3問 ② 重要文化的景観

《前回当選者(敬称略)》

長谷川給美 大石橋節子 中澤良太 園田久美子
武田佐知 本間道子 中村和裕 末山郁夫
吉田豊治 深尾栄一

おめでとうございます！

環境クイズ応募要領

★方 法／答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

★締切日／平成19年12月3日(当日消印有効)
全問正解者の中から抽選で、図書カードをお送りいたします。当選者は次号で紙面にて発表します。

【応募先】 ☎910-8580

福井県庁内 環境ふくい推進協議会

福井県からのお知らせ

《自然保護センター秋冬の行事案内》

- ◆自然観察ウォーク
10月27日(土) 9:00~15:00
「文殊山に登ろう」鯖江市文殊山にて
- ◆四季の自然観察シリーズ
10月の毎週日曜・祝日
植物、野鳥、ネイチャーゲームなど、毎回テーマが変わります。
※予約不要
- ◆特別観望会
12月24日(月) 19:30~21:30
「クリスマスに月と火星のダイヤモンドを贈ろう」
センター観察棟にて

《海浜自然センター秋冬の行事案内》

- ◆海のふれあい教室
11月25日(日) 13:30~15:00
「海の生き物博士になろう！」(海のUFO・クラゲ)
海浜自然センターにて
- ◆三方五湖自然教室
11月3日(土)・11月17日(土)
12月1日(土)・12月15日(土) いずれも10:00~12:00
「野鳥観察会」
冬、田んぼにやってくるコハクチョウなどの観察
三方湖・菅湖とその周辺にて

などなど、これらの他通年プログラムや、団体プログラムなど、様々なイベントをご用意しております☆
行楽のシーズン、四季を感じながら自然体験を楽しみませんか!?

お問い合わせ

◆福井県自然保護センター(大野市南六呂師196-11-2)

☎ : 0779-67-1655

E-Mail : sizen@fncc.jp

URL : <http://www.fncc.jp>

◆福井県海浜自然センター(三方上中郡若狭町世久見18-2)

☎ : 0770-46-1101

E-Mail : kaihin@fcnc.jp

URL : <http://www.fcnc.jp>

写真募集!

みんなのかんきょうの表紙を飾る写真を募集します。
福井県内の自然の風景であれば、何でも構いません。
多数のご応募お待ちしております。

※採用された方には記念品を送らせていただきます。

環境ふくい推進協議会 会員募集!!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。

環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を毎号読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております！

年会費 個人会員：500円
企業会員：10,000円
(1口以上何口でも可)
団体会員：無料

申込み・問合せ先

環境ふくい推進協議会事務局
(福井県環境政策課内)

TEL : 0776-20-0301

環境ふくい推進協議会からのお知らせ

メールマガジン

環境ふくい推進協議会では、環境に関するイベント情報をメールマガジンを活用し、タイムリーに提供することにより、会員相互の情報の共有化を図っています。

情報を発信したい方、受信したい方は下記アドレスまでご連絡ください。

⇒⇒⇒ E-mail : kankyou@pref.fukui.lg.jp

ホームページ

協議会の事業紹介やイベント案内、『みんなのかんきょう』のバックナンバーも掲載しています。

⇒⇒⇒ <http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs.html>

編集
後記

今年の異常な猛暑もようやく、収束を迎え秋らしい季節になってきました！秋といえば行楽のシーズン、外出の機会も多くなります。車での外出の際には、アイドリングストップ、急発進・急加速をしない等エコドライブをこころがけましょう。